

# 生と死を考える会全国協議会 2014年度全国大会in豊橋 ホスピスと共にささえあう街

**10/25** 土 12:30~17:20

- 講 演 ◎高木慶子氏  
◎柳田邦男氏
- 分科会 ◎岡村昭彦写真展・文庫展  
◎豊橋ホスピスを考える会のあゆみ  
◎ホスピス・緩和ケア病棟へのご案内  
◎ライブコンサート  
◎茶畑和也氏のハート展(両日開催)

**10/26** 日 9:00~16:00

- シンポジウム『ホスピスというミッション』
- 講 演 ◎アルフォンス・デーケン氏  
◎佐藤健氏 ◎吉澤明孝氏
- 分科会 ◎岡村昭彦写真展・文庫展  
◎私たちは、福島を忘れない  
◎豊橋ホスピスを考える会のあゆみ  
◎鍼灸マッサージ実習  
◎ホスピス・緩和ケア病棟へのご案内

参加費:2,000円(2日間共通チケット)

※チケット取り扱い場所のご案内は中面にあります。

主催: 豊橋ホスピスを考える会 生と死を考える会全国協議会

共催: 国立病院機構豊橋医療センター

後援: 豊橋市、豊橋市教育委員会、豊橋社会福祉協議会、豊橋観光コンベンション協会、豊橋市医師会、豊橋市歯科医師会、豊橋市薬剤師会、豊橋市仏教会、NPO全国鍼灸マッサージ協会、日本エステティック協会、中日新聞社、東海日日新聞社、東愛知新聞社

## 会場 穂の国とよはし芸術劇場プラット

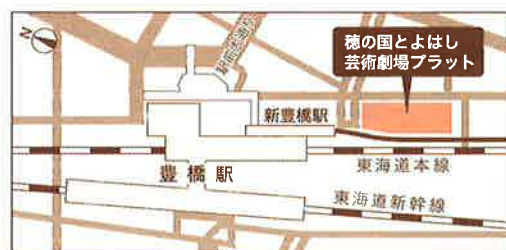
豊橋市西小田原町123番地 TEL(0532)39-8810

●豊橋駅・新豊橋駅からデッキで直結、豊橋駅南口から徒歩約3分

豊橋ホスピスを考える会事務局 [http://matuba89.wix.com/toyohosu]

メールアドレス mail@matuba89.jp

豊橋市三ノ輪町1-56 松葉治療室・堀田 FAX(0532)62-7989





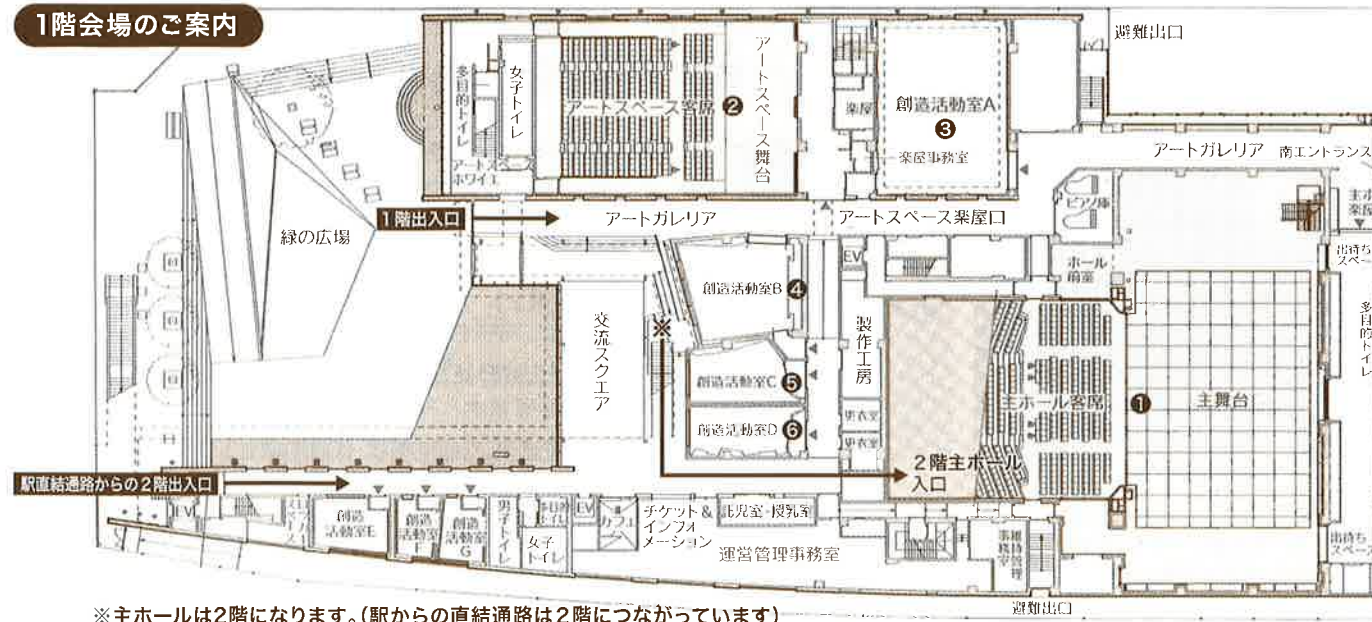
# 大会プログラム 第1日目 10月25日(土)

第1日目 10月25日	第1会場 主ホール①	第2会場 アールスペース②	第3会場 創造活動室A③	第4会場 創造活動室B④	第5会場 創造活動室C⑤	第6会場 創造活動室D⑥
10:00~	全国協議会会員受付(会員のみ)					
10:30~			分科会Ⅰ 「各地域の会における運営上の問題」		分科会Ⅱ 「死への準備教育」	分科会Ⅲ 「グリーンケア」
12:00~	開場・一般受付(当日チケット販売)					
12:30~	開会あいさつ		開場・一般受付(当日チケット販売)			
13:35~	講演① 講師:高木慶子 「あなたの支えと励まして生きてきた」	主ホール上映	岡村昭彦 写真展・文庫展 (岡村昭彦の会) (静岡県立大学図書館 岡村昭彦文庫)	「ハート展」 茶畑和也 (イラストレーター) 東日本大震災後の2011年3月28日から毎日1枚、ハートの絵を描き、フェイスブックやツイッターで発信している。「被災地や原発事故を忘れていないという気持ちだけでも伝えたい」との思いでハートの数はすでに1100個を超えた。 ※ホスピスの温かいイメージづくりに当会では茶畑さんのイラストを起用。10年前と今年の全国大会、当会20周年記念行事のイラストは彼の手によるもの。	テーマ 「ホスピス・緩和ケア病棟へのご案内」 担当:国立病院機構豊橋医療センター看護部 当院は多くの市民に利用され、患者数に於いては全国屈指の施設。3つ(症状緩和、レスパイトケア、看取り)の入院形式で、患者を差別せず、断らず、待たせず、温かなケアを提供しています。	「豊橋ホスピスを考える会のあゆみ」 “我が街にホスピスを”という願いのもと発足した会の20年の歩みをふりかえる展示と、緩和ケア病棟開設の活動に尽力した方々と今後を語り合うサロン。
14:30~	講演② 講師:柳田邦男 「人は死を前にはじめて生きる」		全国協議会全体会 (会員のみ)	終了		
16:00~	休憩	終了				
16:20~	ライブコンサート ききまたく(間間拓&小川徹) 「明日、生きる力になるために…!!!」		終了			
17:20	終了	全国協議会懇親会(ホテルアソシアにて)				
18:00	終了					
19:00~	終了					

# 大会プログラム 第2日目 10月26日(日)

第2日目 10月26日	第1会場 主ホール①	第2会場 アールスペース②	第3会場 創造活動室A③	第4会場 創造活動室B④	第5会場 創造活動室C⑤	第6会場 創造活動室D⑥
9:00~	開場・一般受付(当日チケット販売)					
9:30~	シンポジウム 「ホスピスというミッション(使命) - 岡村昭彦が遺したメッセージに込めて -」 シンポジスト:細野容子(元岐阜大学教授、看護師)、米沢慧(評論家)、横山巖(弁護士)、戸田昌子(武蔵野美術大学非常勤講師、写真史研究者) 座長:佐藤健(国立病院機構 豊橋医療センター緩和ケア部長)	講演⑤ 講師:吉澤明孝 「緩和ケアとソシオエスティック・・・病室に笑顔を」	岡村昭彦 写真展・文庫展 (岡村昭彦の会) (静岡県立大学図書館 岡村昭彦文庫)	テーマ 「ホスピスに携わる医療従事者と家族に向けてのツボ療法」 齋藤剛康(事業協同組合全国鍼灸マッサージ師協会代表理事、剛鍼灸院・レディーズ鍼灸さいとう総院長)	テーマ 「ホスピス・緩和ケア病棟へのご案内」 担当:国立病院機構豊橋医療センター看護部 当院は多くの市民に利用され、患者数に於いては全国屈指の施設。3つ(症状緩和、レスパイトケア、看取り)の入院形式で、患者を差別せず、断らず、待たせず、温かなケアを提供しています。	「豊橋ホスピスを考える会のあゆみ」 “我が街にホスピスを”という願いのもと発足した会の20年の歩みをふりかえる展示と、緩和ケア病棟開設の活動に尽力した方々と今後を語り合うサロン。 「ハート展」 2011年3月28日から毎日1枚、ハートの絵を描き続けている茶畑和也さんの原画展。
10:30~	休憩(飲食禁止) 合唱		休憩(飲食OK) ※12:20~13:40のみ	休憩(飲食OK) ※12:00~13:30のみ		
12:00~	講演③ 講師:佐藤健 「ホスピスという希望」 =豊橋ホスピスを考える会20年の歩み=	「フクシマ地域医療 いのち」 遠藤清次(医師、絆診療所院長)、鶴島綾子(管理栄養士、絆診療所)	【2日間通しチケット(2,000円)取り扱い場所】 穂の国とよはし芸術劇場プラット・・・(0532)39-8810 豊川堂・本店・・・(0532)54-6688 豊川堂・カルミア店・・・(0532)55-2810 豊川堂・アビタ向山店・・・(0532)55-2119 精文館書店・豊橋本店・・・(0532)54-2345			
14:00~	講演④ 講師:アルフォンス・デーケン 「寄り添うところ」		終了			
15:00~	閉会のあいさつ					
15:30~	終了					
16:00~	終了					

## 1階会場のご案内



※主ホールは2階になります。(駅からの直結通路は2階につながっています)

### 講演1 「あなたの支えと励まして生きてきた」

講師:高木慶子

#### プロフィール

聖心女子大学文学部心理学卒業。上智大学神学部博士課程前期修了。博士(宗教文化)。現在、上智大学特任教授、同大学グリーンケア研究所特任所長、「生と死を考える会全国協議会」会長等。20年来ターミナル(終末期)にある人々のスピリチュアルケアや悲嘆にある人々(家族や親しい友人を亡くした人)のグリーンケアに力を注いでいる。また、小中高の学校教育現場に向けて「生と死の教育」の教材制作など幅広く活動。主な著書に『悲しみの乗り越え方』『大震災一生かされたいのち』など多数。



### 講演2 「人は死を前にはじめて生きる」

講師:柳田邦男

#### プロフィール

1936年(昭和11年)栃木県生まれ。現代に生きる人間の命や心の危機の直面について、様々な角度から調査分析して、ドキュメンタリーの作品や評論を書き続けている。最近、死を前にした人の生き方や愛する人を亡くした人の生き方を考える著書や、ネット社会の中で心がゆがめられがちな子供の人格形成に、絵本の読み聞かせが重要になっていることを説く著作の執筆に力を入れている。主な著書に『私は9歳のときから死と向きあってきた』『言葉が立ち上がる時』『生きる力、絵本の力』など多数。



### 講演3 「ホスピスという希望」=豊橋ホスピスを考える会20年の歩み=

講師:佐藤健

#### プロフィール

愛知県豊橋市生まれ。名古屋大学医学部卒、医学博士。現在、国立病院機構豊橋医療センター緩和ケア部長、豊橋ホスピスを考える会会長、生と死を考える会全国協議会副会長、東海緩和医療研究会世話人代表。2005年国立病院機構豊橋医療センター緩和ケア病棟開設に尽力し、日本有数のホスピスとして発展させた。現在は外科医としてがん治療および末期がんの症状コントロールに取り組む傍ら、各地の病院や学校で講演、啓発活動を続けている。主な著書に『緩和ケアでがんと共に生きる』『ホスピスという希望』がある。



### 講演4 「寄り添うところ」

講師:アルフォンス・デーケン(Alfons Deeken)

#### プロフィール

1932年ドイツ生まれ。1959年来日。1973年フォーダム大学大学院(ニューヨーク)で哲学博士の学位(Ph.D.)を取得。以後30年にわたり上智大学で「死の哲学」などの講義を担当。カトリック司祭。現在、上智大学名誉教授。「東京・生と死を考える会」「生と死を考える会全国協議会」名誉会長。1991年全米死生学財団賞、第39回菊池寛賞、1998年ドイツ功労十字勲章、1999年第15回東京都文化賞などを受賞。主な著作に『よく生きよく笑いき死と出会う』『死とどう向き合うか』『心を癒す言葉の花束』など多数。



### 講演5 「緩和ケアとソシオエスティック・・・病室に笑顔を」

講師:吉澤明孝

#### プロフィール

1959年生まれ。1985年日本大学医学部卒、1989年同大学院修了。日本大学医学部麻酔科、癌研究会附属病院などの勤務を経て、現在、要町病院で副院長として内科・ペインクリニック・緩和医療・在宅医療を担当。平成18年から要町ホームケアクリニックを開設し院長として在宅医療を継続。様々な癌患者の症状緩和を中心としたケアを患者、家族の希望に沿って在宅、外来、入院で取り組み、緩和医療の中で大病院と緩和ケア病棟の中間的な立場で患者中心の医療を行っている。日本在宅医療学会代議員、日本在宅医療学会評議員など多数の学会に所属。





## ●シンポジウム 10月26日(日)9:30~12:00 会場:主ホール

### 「ホスピスというミッション(使命) —岡村昭彦が遺したメッセージに答えて—」



岡村昭彦(おかむら あきひこ)

1929年1月1日名門に連なる海軍将校の長男として生まれ、47年東京医専中退、戦後の混乱期をさまざまな仕事をして乗り越え、34歳の時に初めて南ベトナム戦争を取材、翌年「LIFE」に南ベトナム前線での写真が9頁にわたり特集されて一躍世界のOKAMURAとなる。1965年『南ベトナム戦争従軍記』(岩波新書)はベストセラーとなり日本人の目を東南アジアの戦争に向けさせた。その後、北アイルランド紛争、ピアフラ戦争、エチオピアの飢餓などを取材。その他数々の世界史の現場に立ち、国際フォトジャーナリストとしてカメラとペンによりわれわれはどんな時代に生きているのかという視点から21世紀にも未解決の戦争と平和の問題を鋭く訴え続けた。晩年には生命倫理やホスピスに取り組んでいたが1985年3月24日敗血症のため死去。享年56歳。彼の生涯は常に弱者の側に身が置かれていた。日本のホスピス運動黎明期1980年代はじめに「日本式ホスピスは、私にはガン病棟としか思えない」と痛烈に批判し「ホスピスや死の臨床の神髄は平等意識だと思います」と指摘した岡村のホスピスへのミッションと、岡村がわが国に紹介した近代ホスピスの母マザー・エイケンヘッドの精神を捉えなおすシンポジウム。2009年の第33回日本死の臨床研究会年次大会では佐藤座長が大会長を務め、岡村昭彦をメインシンポジウムに取り上げている。

- 細野容子(元岐阜大学教授、看護師)  
「ホスピスの母マザー・エイケンヘッド」
- 米沢慧(評論家)  
「岡村ゼミ—看護婦が作った『入院案内』から—」
- 横山巖(弁護士)  
「非行・いじめ問題をどう受けとめるのか」
- 戸田昌子(武蔵野美術大学非常勤講師、写真史研究者)  
「岡村昭彦の写真から『いのち』のメッセージを読む」
- 座長:佐藤健(国立病院機構 豊橋医療センター緩和ケア部長)

#### ●岡村昭彦 写真展・文庫展

10月25日(土)13:30~・26日(日)9:30~12:00  
会場:創造活動室A

岡村昭彦写真 (岡村昭彦の会)

岡村昭彦文庫 (静岡県立大学附属図書館「岡村昭彦文庫」の一部展示。岡村昭彦氏が蒐集した蔵書約18,000冊と関係資料を所蔵)

#### ●鍼灸マッサージ実習

10月26日(日)9:30~12:00  
会場:創造活動室B

テーマ:「ホスピスに携わる医療従事者と  
家族に向けてのツボ療法」

講師:齋藤剛康(事業協同組合全国鍼灸マッサージ師協会 代表  
理事、剛鍼灸院・レディース鍼灸さいとう総院長)

#### ●分科会(ホスピスについてのQ&A)

10月25日(土)13:30~・26日(日)9:30~12:00  
会場:創造活動室C

テーマ:「ホスピス・緩和ケア病棟へのご案内」

担当:国立病院機構豊橋医療センター看護部

当院は多くの市民に利用され、患者数に於いては全国屈指の施設です。3つ(症状緩和、レスパイトケア、看取り)の入院形式で、患者を差別せず、断らず、待たせず、温かなケアを提供しています。

#### ①豊橋ホスピスを考える会のあゆみ ②ハート展

10月25日(土)13:30~・26日(日)9:30~12:00  
会場:創造活動室D (②ハート展は25日のみ創造活動室B)

①「我が街にホスピスを」という願いのもと発足した会の20年の歩みをふりかえる展示と、緩和ケア病棟開設の活動に尽力した方々と今後を語り合うサロン。

②2011年3月28日から毎日1枚、ハートの絵を描き続けている茶畑和也さんの原画展。

#### ●私たちは、福島を忘れない

10月26日(日)14:00~15:30  
会場:アートスペース

テーマ:「フクシマ 地域医療 いのち」

講師:遠藤清次(医師、絆診療所院長)  
鶴島綾子(管理栄養士、絆診療所)

#### ●ライブコンサート

10月25日(土)16:20~17:20 会場:主ホール

出演:ききまたく(間寛拓&小川徹)

「明日、生きる力になるために・・・!!!」

10月26日(日)13:30~14:00 会場:主ホール

出演:渥美混声合唱団

#### ◎「食べることは生きること」 10月26日(日)のお弁当予約販売のお知らせ

辰巳芳子先生がいつも教えておられる「食べる」ことの大切さを基本に、この地域ならではの食材を活かしたお弁当企画です。地元農産物にこだわり有機、無農薬を中心に、体にやさしい健康弁当「和食」「中華」「イタリアン」の3種を予約販売。予約は8月から<http://matuba89.wix.com/toyohosu>でご案内します。尚、当日のお弁当販売はありませんのでご注意ください。